



「よい子の七夕まつり」などの活動で兵庫県より「まちの寺子屋」に認定



西脇商連主催で来住邸での落語寄席を企画したことも

# TMO NEWS

西脇まちなか交流館を拠点としたまちづくり  
town management organization「TMO」  
親しみを込めて「トモ」と読み、その活動をお伝えします

## 西脇TMO推進室長 4月から交代

### 西脇市 中心市街地 まちづくりの

### これまでとこれから

### 新旧リーダーはこんな人



二代室長 **岸 正博さん**  
趣味はカメラと演歌。イベントでは頭にタオルを巻いて焼き芋職人に变身します。好きな有名人:吉田類さん

令和7年の春、西脇TMO推進室の室長が20年ぶりに交代することになりました。この機に新旧の室長を紹介いたします。

#### 人に恵まれた20年に感謝(岸)

長年にわたり西脇TMOが目指す「中心市街地の活性化」に取り組んできた岸正博さんは、同組織が開設された翌年から二代目室長に就任。拠点となる旧来住家住宅に、あの手この手で賑わいを呼び込んできました。

地域の人がプロ・アマ問わず作品を展示できる「来住邸ギャラリー」。幼稚園児のための日本文化の体験企画「七夕まつり」「お月見会」「お餅つき会」。大学生や高校生の若い力を生かした播州織ファッションショー。旧来住家住宅と周辺エリアを一緒に盛り上げる周遊型イベントなどなど。シニアから幼稚園児まで幅広い「つながり」を生かしたまちづくりの手腕は県内外でも「目を置かれるようになり、全国各地からの視察が今も絶えません。

「何もなしところから自分のアイデアでかちやっていく仕事はやりがいがある。けど二人では何もできへん。周りの人に助けてもらわなだから僕はほんまに人に恵まれたと思う。あの人もこの人も、世話になった人の顔が浮かんでくる」と振り返る岸さん。「人と人とのつながりは大事にせなあかん」と口癖のようにい

ながら20年間記録し続けた膨大な活動ファイルには、たくさんの笑顔が詰まっています。

岸さんは、写真で記録を残す「マメさ」も有名で、フェイスブックは毎日更新。「これまで仕事ばかりやったから、引退後は四国八十八ヶ所巡りと放浪の旅に出るのが夢。旅先から写真をアップしようかな」と、楽しい計画も進んでいます。サクラ咲く、4月10日頃まではこれまで通り勤務の予定ですので、ぜひ岸さんに会いにお越しください。

#### へその西脇にご縁を感じます(藤井)

岸さんの跡を継ぐ三代目室長は、イベントの企画制作を仕事とする藤井昌弘さん。2024年秋に第1回が行われた西脇多可オープンファクトリー「もっぺん」の代表でもあり、イベントを通じて、すでに地域のまちづくりに取り組んでいる方です。



三代室長 **藤井 昌弘さん**

広島県福山市に生まれ、大阪府枚方市や京都市を経て、現在西脇市在住。「西脇のこと、もっと知りたい」好きな有名人: 田中邦衛さん



365 cottonで服を原料から知るための綿花栽培



旧来住家住宅築100年記念イヤー(2018年)にイベントを多数企画



大学生や高校生による播州織ファッションショー

2023年春にご家族とともに京都市内から西脇市黒田庄町へ移住されたばかりですが、西脇との縁は足かけ11年。きっかけは、一年を通じて綿花を栽培するワークショップ「365cotton」でした。「ほぼ毎月、家族で京都から通って土いじりをするうちに、自然豊かな環境で子育てしたいという思いが強くなって」と藤井さん。京都では伝統工芸のイベントに携わるなど手仕事・ものづくりの分野に明るく、播州織への関心もあったそうです。(次ページ)